

令和6年度 第3回豊南地域会議 会議録

■日 時 令和6年7月18日（木）午後6時30分～午後7時40分

■会 場 豊南交流館 1階 大会議室

■出席者 <委 員> 伊勢 宣孝 宇野 純一 宇野 昇 浦 裕美
大富 晃 川上 正弘 桑山 正己 小玉 知子
小林 俊一 小林 輝弥 辻川 厚良 富田 雅司
中島 浩 松本 和市
※欠席者 相馬 照雄 高橋 恵利加
<事務局> 杉浦 智文（地域支援課 課長）
大平 直樹（地域支援課 担当長）
杉浦 由里江（地域支援課 主事）

■次 第

開 会

- 1 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 提言に向けた協議について
- 4 連絡事項

閉 会

■議 事（要約）

3 提言に向けた協議について

<グループワーク>

2グループに分かれて実施。

高齢化・地域活動の担い手不足、交通、防犯、防災、こども、環境、その他の7つテーマの中から、豊南地域会議で協議していくべきと考えるテーマを2つ絞る。
各グループで出た意見は以下のとおり

【Aグループ】

防災

- ・災害時、日本語のわからない外国人にどう対応するのか。
- ・災害時の避難場所等、詳細を知らない。地域としての防災のあり方がわからない。

防犯

- ・外国人の居住者が多い。
- ・不審者がこどもに声掛けをすることが増えている。特に山之手自治区で件数が多い。

こども

- ・広場で遊ぶこどもが少ない。公園の活用の仕方を考える。
- ・こどもをもう少し気楽に預けられる環境があると親は助かる。
- ・学童後のこどもの預かり場所がない。
- ・こどもの見守りの方が不足している。共働きで時間を取れない世帯が多い。
- ・放課後や学校が休みの時、こどもの世話をする公的なサービスが欲しい。

交通

- ・車がないと買い物に行けない。移動販売車が普及すると良い。
- ・公共交通が不便。
- ・免許返納後の移動手段が少ない。
- ・市内巡回バスがない。
- ・地域全体の道が狭い。

高齢化

- ・（強み）町内には顔なじみが多く防犯上良い。
- ・（強み）若い世帯が多い。こどもの数が多い。
- ・デジタル化への対応が必要。要求が様々で高齢者にとってはわかりにくい。
- ・高齢者が多いが、サポート体制が弱い。
- ・自治区の未加入率が増えてきている。
- ・地域活動への参加者が少ない。
- ・独居老人のサポートが必要。

環境

- ・ゴミステーションの場所の確保が難しい。
- ・生ごみをカラスがつつつく。
- ・ゴミ出しマナーが悪い。決められた日時に出さない。

グループで絞ったテーマ 高齢化 こども

理由➡今時のこどもは公園を使わない。公園以外のこどもの遊び場について検討したい。

高齢化とこどもは両極端にあるように見えて、関わり合っている。

時間のある高齢者がこどもの面倒をみるなど、お互いにとってメリットとなるやり方を考えていけたら良いと思う。

【Bグループ】

こども

- ・高齢者やこどもの遊ぶ場所が少ない。
- ・（強み）公園が整備されている。【下野見自治区】
- ・（強み）見守り対応をしており、防犯面でしっかりしている。【下野見自治区】

地域活動

- ・高齢化が進み、空き家が増えている。防犯上も良くない。
- ・孤独死が今年に入って2件あった。【丸山自治区】
- ・近所同士のつながりが薄い。【丸山自治区】

- ・災害時に助け合えるのかわからない。【丸山自治区】
- ・自治区の行事への参加者が少ない。
- ・自治区役員の後継者選びが難しい。
- ・地域の役員で50歳以下の若手がいらない。

防災

- ・各自治区合同で防災を進めていく。

交通

- ・高齢者の免許返納後の移動手段がない。
- ・地域タクシーの使い勝手が悪い。
- ・コミュニティカーシェアリングの横展開をする。
- ・安心して免許返納ができる環境を整備する。
- ・特定小型原付四輪車の普及を促進する。
- ・高齢者、こどもが安心して歩ける歩道の整備が必要。
- ・シニアカーが通れるような歩道の整備が必要。

グループで絞ったテーマ 地域活動 交通

理由➡地域活動の後継者がいないという共通認識があった。視点を変え、働きながらも役員を担えるよう、業務の在り方を考えるべき。近所で顔を合わせても挨拶をしない人がおり、地域とのつながりの希薄化も影響している。

交通については、高齢者が免許返納をしても困らないような環境を整えるべきだと思う。例えば、シニアカーが走ることを想定した歩道の整備等、歩道に目を向けても良いと思う。

＜次回開催日＞

令和6年8月22日（木）午後6時30分から 豊南交流館